

**ドイツ証券株式会社、三菱地所株式会社の期限 12 年無担保社債発行で単独主幹事**

【2007 年 10 月 23 日、東京】一ドイツ証券株式会社（所在地：東京都千代田区、代表取締役社長：デイビッド・ハット）は、本日、三菱地所株式会社（所在地：東京都千代田区、取締役社長：木村恵司）による第 85 回無担保社債発行で単独主幹事を務め、同起債を成功裡にローンチした旨を公表しました。本案件は、ドイツ証券が三菱地所の普通社債発行で主幹事を務めた 7 回目の案件となります。

今回三菱地所株式会社が発行した期限 12 年の国内公募社債は、発行総額 100 億円、利率は年 1.975%で、償還期限は 2019 年 10 月 30 日（満期一括償還）となっています。発行価額は 100 円（額面）、払込期日は 2007 年 10 月 30 日、利払日は年 2 回で、毎年 4 月 30 日と 10 月 30 日（初回は 2008 年 4 月 30 日）となっています。

また、本社債は、ムーディーズ・インベスターズ・サービス・インクから Aa3（ダブル A スリー）、株式会社格付投資情報センターから AA（ダブル A）、スタンダード&プアーズから A+（シングル A プラス）の格付けを取得しています。

ドイツ証券株式会社のマネージング・ディレクター兼グローバル・マーケット統括本部長であるヘンリー・リショットは、「今回三菱地所株式会社にとっては、1997 年以来、約 10 年振りとなる期限 12 年固定利付債の国内公募債で主幹事を務めることができたことを大変光栄に思います。12 年債ということで発行体ならびに投資家双方にとって期限の分散が図れたことや、下半期に入って早い段階での起債となったことで、生保、公的機関、投資顧問、共済組合、事業法人など、中央の投資家を中心に強い需要を得て順調に完売しました。今後も顧客企業の財務・経営戦略に沿った幅広いニーズにお応えできるよう、内外の資本市場で培った経験とノウハウを積極的に活用していく所存です」と話しています。

以 上

ドイツ銀行グループは、グローバル市場で主導的な地位を占める投資銀行であり、個人顧客ビジネスにおいても収益を生む強固な事業基盤を確立しています。ドイツおよび欧州における圧倒的な強みを背景に、北米やアジア、主要新興国において、力強い成長を遂げています。ドイツ銀行グループの総従業員数は 7 万 5,140 人にのぼり、世界 75 カ国で幅広い金融サービスを提供しています。ドイツ銀行グループは、競争の激化するグローバルな市場を舞台に、常に前進を続けるお客さまのニーズに徹底的にお応えしていくことが、株主の皆さまに価値を創造し、私たち自身の成長につながると考えています。

日本においては 1,270 名の従業員を擁し、ドイツ証券株式会社（代表取締役社長：デイビッド・ハット）、ドイツ銀行東京支店（在日支店代表兼東京支店長：相内 泰和）、ドイチェ・アセット・マネジメント株式会社（代表取締役社長：関崎 司）、DB 信託株式会社（代表取締役社長：北瀬 啓治）を通じ、企業金融、投資銀行業務、プライベートバンキング、資産運用などの広範なサービスを提供しています。

<この件に関するお問い合わせ先>

広報部
www.db.com/japan